



警告

ベースメーカを使用されている方は本器を使用しないでください。磁力によりベースメーカの誤作動を誘発する可能性があります。



注意

- ・本器をフロッピーディスクやその他磁気記憶装置に近づけないでください。磁力によりデータが消去されることがあります。
- ・マグネットベースを吸着させる面の材質、厚さ、面粗さ、塗装などの状態により吸着力は減少します。
- ・マグネットベースの吸着面に傷や錆がありますと吸着力は減少します。
- ・本器を落下させたり、ぶつけたりすると破損や作動不良の原因となります。
- ・マグネットの吸着力低下を防止するため、強力な磁力を持っているトランスや脱磁器等の近くでは使用しないでください。
- ・使用しない時は、マグネットを OFF にしておいてください。
- ・性能確保のためマグネットベースは分解しないでください。

1. 特長

本マグネチックスタンドは、ダイヤルゲージ、てこ式ダイヤルゲージ(弊社のテストインジケータ等)などの測定器を任意の位置にセットするための測定治具です。

- ・ベースにはマグネットを採用しており、縦・横・逆さの位置に、またV溝により、円筒状のものにも確実に固定させることができます。
- ・微調整機構により測定器のゼロ点合わせが容易に行えます。(7011-10 のみ)

2. 各部の名称(図1参照)

- マグネットベース
- レバー
- ボール
- 支柱
- 支柱組立
- クランプツマミ
- ダイヤルゲージ取付穴
- 耳金固定金具
- 微調整ツマミ(7011-10 のみ)

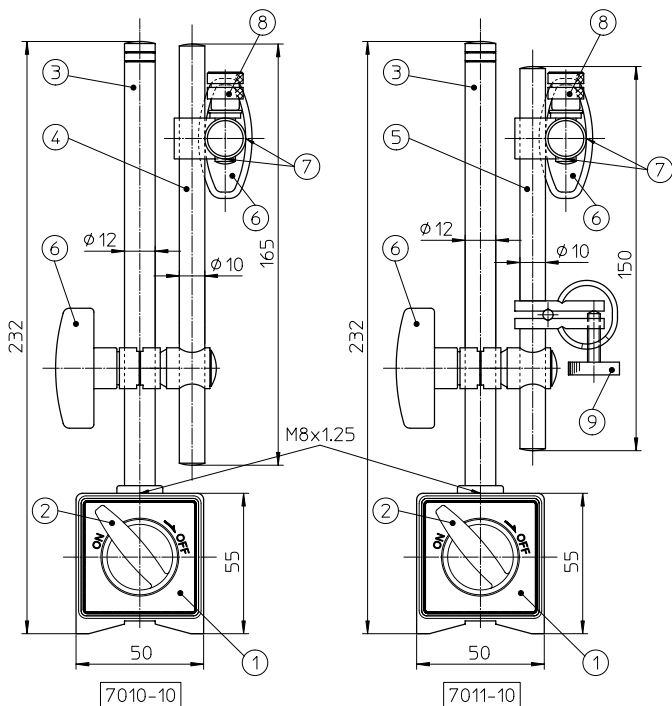


図1

3. 使用方法

ダイヤルゲージ取付穴に固定する場合

- 1) ダイヤルゲージ取付穴に固定されている耳金固定金具を抜き取り、測定器のステムを差し込みクランプツマミで仮固定します。
- 2) 測定箇所へ測定器の先端(測定子)が届くようにマグネットベースを移動させ、マグネットベースのレバーを ON にして吸着させます。
- 3) 測定器の先端(測定子)を測定箇所に合わせて、クランプツマミを少し緩めて支柱や測定器の角度を調整した後、クランプツマミ2個共に締め付けて各部を固定します。
- 4) 微調整ツマミにて測定器の姿勢やゼロ点の微調整を行います。

耳金付き測定器を固定する場合

- 1) 耳金固定金具のナットとワッシャをネジから外し、その部分に測定器の耳金の穴を通してワッシャとナットで固定します。(図2参照)
- 2) 以降の手順は上記のダイヤルゲージ取付穴に固定する場合の2)以降と同様です。

重要

- ・ステム長が16mmに満たない測定器をダイヤルゲージ取付穴に固定する場合には、傾いた姿勢になることが予想されるため、耳金による固定をお勧めします。
- ・測定誤差を最小限に抑えるため、測定器の取扱説明書なども参照して適切な姿勢で固定してください。

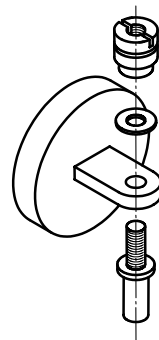


図2

4. 特別付属品

パーツ番号	品名	対象機種
02AZC282	支柱 300mm	7010-10
02AZC390	支柱組立 300mm	7011-10

：支柱を長くして使用したい場合に有効なパーツです。

5. 製品仕様

コード番号	適用ステム径	質量	吸着力
7010-10	6mm, 8mm	1.38kg	600N
7011-10	6mm, 8mm	1.42kg	600N